

Ⅳ-160

移動制約者等の公共交通機関利用に関する意識調査について

(株)日建設計 正員 児玉 健
 近畿大学 正員 三星 昭宏
 地域環境研究所 濱野 正逸

1. はじめに

近年、高齢者・障害者の社会参加には、移動、交通手段の確保はきわめて重要であるという認識にたち、安全かつ身体的負担の少ない方法で、鉄道・バス等の公共交通機関が利用出来るような各種の施設整備が重要な課題となっている。本稿は、こうした人々の交通施設、車両改善対策に加えて発地から目的地に至る移動ニーズ、高齢者障害者の公共交通機関利用時の個々の問題点等を把握するために実施した実態調査の概要を紹介し、それを踏まえた調査実施において今後考慮すべき点について記述するものである。

2. 調査の目的と方法

実態調査は、次の3つを目的とし、3種類の調査を実施した。

(1) 調査の目的

- i) 健常者を含めた、移動時に身体的負担を感じている人の比率の把握
- ii) 高齢者・障害者における外出の実態と潜在的需要の把握
- iii) 高齢者・障害者における移動時の問題点の把握

(2) 調査対象地域

調査対象地域は、神戸市内の中央区、長田区、兵庫区とする。

(3) 調査項目

3つの調査の主な調査項目と調査目的との関連を図-1に示す。

(3) 調査方法

① 健常者へのヒアリング

健常者へのヒアリングは、対象地域内の4つの主要駅で、平日に実施し、合計で383サンプルを回収した。

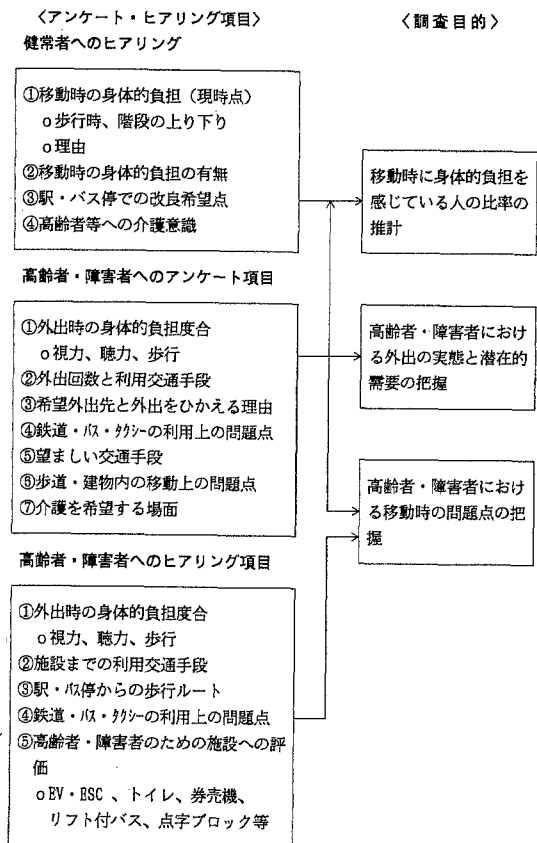
② 高齢者・健常者へのアンケート

i) 高齢者へのアンケート

配布については、神戸市老人連合会会長を通じて各区老連の代表者にアンケート用紙を受渡し、さらにアンケート用紙を各個人に受渡すという手順をとった。

その際のアンケート回答者の抽出は、男女別、75才以上・未満別の配布枚数のみを指定し、被験者の選択は任意とした。回収は、郵送回収とした。

図-1アンケート・ヒアリング項目と調査目的の対応



その結果、調査票がB4版タテで13ページにも関わらず、53.8%という高い回収率を確保できた。（表-1参照）

ii) 障害者へのアンケート

配布に際しては、障害者団体の中からランダムに抽出を行い、郵送配布、郵送回収とした。

なお、視覚障害者については、別途点字の調査票と回答用紙を用意し、回収後、健常者によりアンケート用紙に転記する方法を採った。

障害者についても、表-2に示すように38.6%という高い回収率となっている。

③ 高齢者・障害者へのヒアリング

ヒアリングは、施設来訪者の中から1人当たり20～30分のヒアリングを実施し、表-3に示すように、高齢者で97サンプル、障害者で100サンプルを得ることができた。

3. 調査体制と留意点

本稿で述べた実態調査の実施を踏まえて、今後同様の調査を実施する上での留意点を以下に示す。

① アンケートの配布体制

アンケートの配布については、被験者となる高齢者・障害者の特定について、関連団体・行政機関の協力が必要となり、密接な協力体制を作ることが必要となる。

② ヒアリングの調査員の選出

高齢者・障害者へのヒアリングについては、障害者等に関する知識と経験を持った、ボランティア団体等の協力を得ることが必要となる。

4. 今後の課題

本稿で述べた調査を踏まえて、今後移動制約者等に対する交通実態調査に関する課題を以下に示す。

① 移動制約者等の交通実態データの集積

移動制約者等の交通実態については、既に幾つかの都市において、調査が実施されている。これらの調査結果をもとに、移動制約者に関する交通実態の一般的な事項について取りまとめる。

それにより、今後、他地域で調査が実施される場合、調査票の設計等の参考となり得ると考えられる。

② 中心商業地等の不特定多数施設での移動制約者の移動実態の把握

本稿で述べた調査では、高齢者・障害者の利用施

設を中心に調査を実施した。

その結果、被験者からは「あまり問題なし」との回答が半数程度を占めていた。これは、被験者が「行き慣れた」施設であったこと、施設そのものが既に高齢者・障害者に配慮したものであったことによる。

今後は、移動ニーズの高い商業施設等の「行き慣れていない」施設での問題点を把握できる調査方法を検討する必要があるだろう。

参考文献

土居聡、三星昭宏、田中直人：地方都市における交通困難者の交通実態と交通整備について、土木計画学研究講演集No.17、1995.1.

表-1 高齢者へのアンケート配布枚数、回収枚数

	75才未満	75才以上	計
配布枚数	240	160	400
回収枚数	92	123	215
回収率(%)	38.3	76.9	53.8

表-2 障害者アンケート配布枚数、回収枚数

区分	身障者	障害者種別				
		肢体	聴覚言語	計	視覚 弱視	点字
郵送配布枚数	342	228	14	100	50	50
回収枚数	132	74	7	32	21	11
回収率(%)	38.6	32.5	50.0	32.0	42.0	22.0

表-3 高齢者・障害者ヒアリングの有効回収数

	有効回収数						
	高齢者	障害者	障害者種別サンプル数				
			肢体	聴覚	言語	視覚	内部
老人共同作業所	32	0	-	-	-	-	-
中部老人福祉センター	28	11	10	-	2	-	0
長田福祉事務所	4	6	4	1	1	1	-
スポーツセンター	28	32	16	12	3	2	4
心身障害福祉センター	5	33	19	10	6	2	4
市立点字図書館	0	18	3	-	-	16	-
計	97	100	52	23	12	21	8